

⑤ 防災

市民の生命、身体および財産並びに市政に重大な影響を及ぼす全ての条件を未然に防止し、また発生した場合に被害を最低限に食い止め、安心・安全を確保します。

- ・平常危機管理・緊急時の対応
- ・自主防災活動への支援・災害発生時の対応力強化
- ・浸水、高潮被害等への備え・耐震改修の促進
(第6次総合計画より)



東北大震災支援を強化します
笠岡市として復興支援ボランティアを支援します。

⑥ スポーツ・文化

元気溢れるスポーツ・文化活動を通じて
まちおこしの起爆剤に

興譲館高校の駅伝・山陽高校の吹奏楽など、全国的活躍は、その都市の活力と地域の方々に勇気づけます。笠岡市もスポーツや文化活動を通じて「まちおこし」の元気が沸くような体制と支援を企画します。



岡山シーガルズ

⑦ 企業誘致

財源確保、働く場の確保など市の活力の源には企業誘致があります。企業誘致戦略室を設置し、グローバルな視点から笠岡の地形の優位性をアピールし、強力に進めます。

⑧ 公共交通



高齢者の方々など
交通弱者の利便のために

海の航路は、関係者の努力によって統合という航路を守る施策が実現しています。陸地のバス路線の効率化は、高齢者の方々など交通弱者を守るためにコミュニティバスなどの活用をはかり充実します。

⑨ 市制60周年

60

市内、全地区一体で盛り上がる企画

平成24年度は市制施行60周年です。先人の市政の功績を讃え、未来に夢ある笠岡づくりの記念とする事業は、市民参画のもとで、市内全地区が一堂に会してエールの交換が出来る楽しく明るく活力ある企画をします。



⑩ 「干拓・島」有効活用

干拓と島は笠岡の特徴であり、財産です。干拓営農業者の方々を活かした農業干拓地としての有効活用を目指します。道の駅・再生エネルギー・メガソーラー誘致・野菜工場・農道空港など広大な土地を活用した多目的活用により、全国への情報発信基地とします。また、島の持つ魅力を大切に、島を活かした活性化策を推めます。



高木市長引退表明を受け
どうする！笠岡市政

2月4日(土)

13:30 ▶ 15:00

笠岡市政を語る集い

集い内容

- ・開会
- ・国県からみた笠岡市政
- ・防災の観点から
消防関係
- ・女性の視点から
婦人関係
- ・高齢者の観点から
福祉関係
- ・若い世代の視点から
青年関係
- ・主催者まとめ
柚木義和

十一番町保健センター2階 ギャラクシーホール

安定感抜群、実績抜群の優れたリーダーである高木直矢市長が12月8日突然の「引退表明」をされました。強力なリーダーであっただけに今、市政は「高木ショック」である種の混迷の中にいると思われます。こうした状況の中で、高木市政12年間を行政に関係した各団体から総括・分析していただき、その功績や今後の課題を語っていただきます。そして、笠岡市の新たなページへ躍動・前進させていく「市政を語る集い」を開催したいと思います。みなさんぜひ、ご参加いただき「今どうする笠岡市政」を一緒に考えましょう。

主催 柚木義和後援会

柚木義和 プロフィール

生年月日
昭和23年10月6日

住 所
笠岡市富岡344-20
(笠岡市北川地区出身)

趣 味
ランニング・バトミントン

好きな言葉
・みんなは一人のために、一人はみんなのために
・生涯撥刺・練習は嘘をつかない

略歴等

- 昭和42年3月 岡山県立笠岡商業高校卒業
- 昭和42年4月 笠岡市職員
- 平成11年4月 笠岡市元気笠岡推進室長
- 平成17年6月 笠岡市建設産業部長
- 平成19年4月 笠岡市政策部長
- 平成21年4月 笠岡市社会福祉協議会事務局長
- 平成21年7月 (株)島のこし代表 (常務理事)
- ・岡山シーガルズを応援する笠岡友の会代表
- ・笠岡ランニングクラブ代表



≡ 事務所のご案内 ≡

気軽にお立ち寄りください。

市政への提言などをお聞かせください



柚木義和は笠岡市を住みやすく、元気で活力に満ち、笑顔で暮らせる都市とする市政を目指し、平成23年12月16日に政治団体「柚木義和後援会」を岡山県選挙管理委員会に届け出ました。

笠岡市美の浜31-4 TEL0865-67-7701
FAX0865-67-7703